

市債と基金

ワンポイント



「市債」とは市の借入金のこと。これにより、学校のように将来まで役立つ施設の建設費を次世代にも平等に負担してもらうことができます。また、「基金」は、いろいろな目的のために用意しておく市の貯金です。13年度は旧ガス同債権清算分を財政調整基金に積み立てたりした結果、昨年よりも約20億円ほど増えています。

秋田市の市債(借入金)	金額
一般会計	1,296億4,403万9千円
下水道会計	1,024億6,233万3千円
市有林会計	17億7,239万7千円
中央卸売市場会計	21億5,028万8千円
農業集落排水会計	29億4,189万2千円
大森山動物園会計	5億2,596万円
土地取得会計	13億7,790万円
廃棄物発電会計	7億2,290万円
合計	2,415億9,770万9千円

秋田市の基金(貯金)	金額
財政調整基金	22億 150万3千円
減債基金	59億5,268万9千円
地域振興基金	3億4,439万6千円
文化振興基金	3億2,066万6千円
庁舎建設基金	53億7,747万8千円
ふれあい福祉基金	9億 601万8千円
国民健康保険事業財政調整基金	7億3,800万円
スポーツ振興基金	3億円
短期大学運営基金	20億1,000万円
美術作品等取得基金	1億5,239万5千円
介護保険事業財政調整基金	4億7,677万1千円
合計	187億7,991万6千円

特別会計



特別会計は、下水道や国民健康保険など特定の事業を行うため、一般会計と区別している会計のことです。

会計別	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 (A) - (B)
土地区画整理会計	20億5,800万4千円	19億3,557万6千円	1億2,242万8千円
下水道会計	159億4,179万1千円	146億6,793万8千円	12億7,385万3千円
市有林会計	1億9,071万8千円	1億8,583万5千円	488万3千円
市営墓地会計	3,958万3千円	3,732万3千円	226万円
中央卸売市場会計	6億7,810万9千円	6億6,474万6千円	1,336万3千円
農業集落排水会計	6億 482万6千円	6億 62万6千円	420万円
大森山動物園会計	5億9,807万6千円	5億9,099万2千円	708万4千円
土地取得会計	5億8,686万7千円	5億8,686万7千円	-
廃棄物発電会計	1億 641万円	9,861万円	780万円
国民健康保険事業会計	198億 84万円	197億2,757万9千円	7,326万1千円
老人保健医療事業会計	278億6,321万1千円	276億9,039万8千円	1億7,281万3千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	9,826万8千円	7,026万3千円	2,800万5千円
介護保険事業会計 (保険事業勘定)	127億2,082万5千円	123億8,034万円	3億4,048万5千円
介護保険事業会計 (介護サービス事業勘定)	1億8,930万1千円	1億8,667万9千円	262万2千円
合計	814億7,682万9千円	794億2,377万2千円	20億5,305万7千円

平成13年度 秋田市の決算

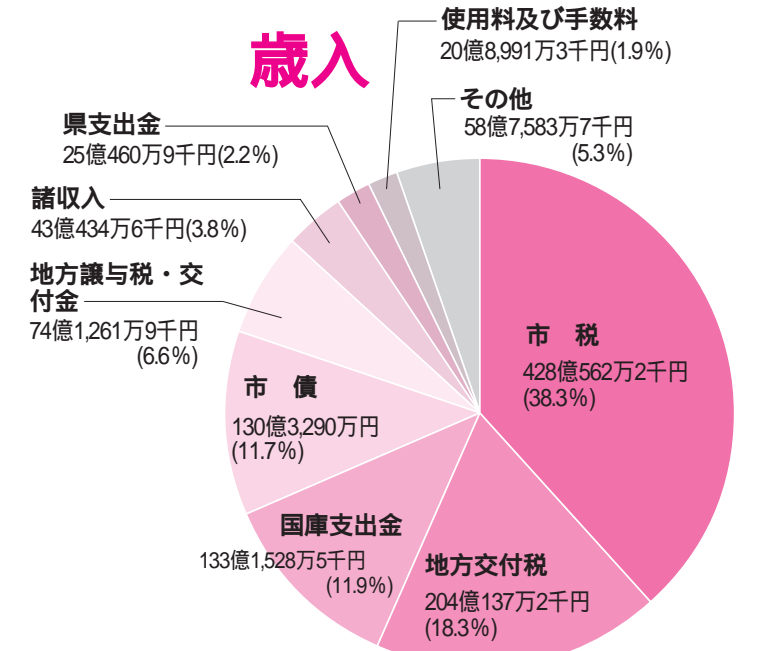
秋田市の平成13年度一般会計・特別会計の決算が、昨年12月の市議会にて認定されました。みなさんが納めた税金や国・県からくるお金がどのくらい使われたか、一般会計と特別会計の財政状況をお知らせします。

一般会計

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など市の一般的な事業に使われる経費のことです。歳入から歳出を差し引くと21億1,729万5千円が残り、ここから平成14年度に繰り越した事業のための財源である6億4,289万7千円を除いた、14億7,439万8千円が黒字になりました。

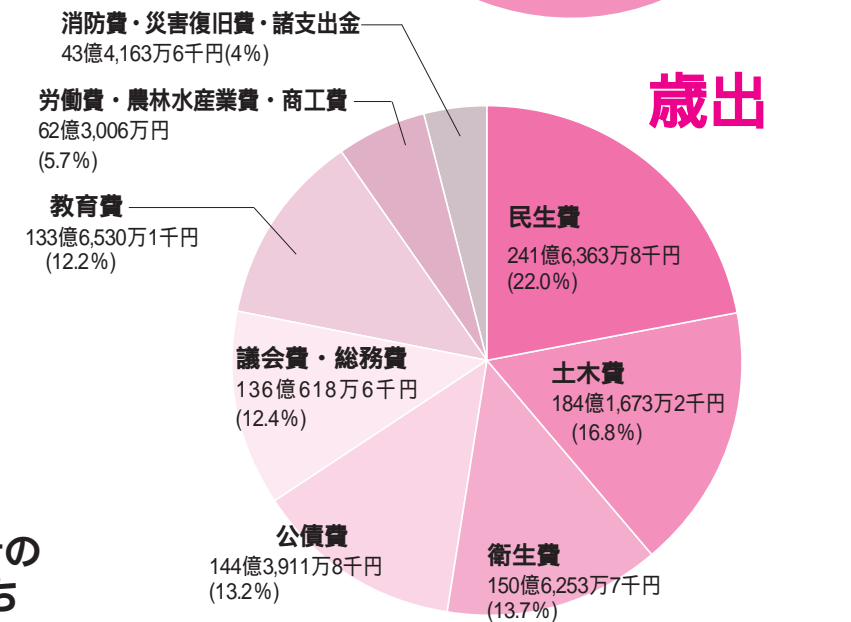
歳入1,117億4,250万3千円

歳入の種類	歳入の金額
市税	428億 562万2千円
地方交付税	204億 137万2千円
国庫支出金	133億1,528万5千円
市債	130億3,290万円
地方譲与税・交付金	74億1,261万9千円
諸収入	43億 434万6千円
県支出金	25億 460万9千円
使用料及び手数料	20億8,991万3千円
その他	58億7,583万7千円



歳出1,096億2,520万8千円

歳出の種類	歳出の金額
民生費	241億6,363万8千円
土木費	184億1,673万2千円
衛生費	150億6,253万7千円
公債費	144億3,911万8千円
議会費・総務費	136億 618万6千円
教育費	133億6,530万1千円
労働費・農林水産業費・商工費	62億3,006万円
消防費・災害復旧費・諸支出金	43億4,163万6千円



総合環境センター

13年度一般会計のおもな使いみち

民生費...福祉、介護保険、保育、医療などに使いました。福祉複合施設や老人福祉施設、保育所などの整備、福祉医療費の給付などを行いました。
土木費...道路や橋の整備、都市計画、市営住宅の建設などに使いました。
衛生費...保健衛生、環境衛生などに使いました。健康診査や予防接種、総合環境センター建設などを行いました。
議会費・総務費...議会の運営、選挙、統計調査などに使いました。市役所の福祉棟・立体駐車場の建設や住民基本台帳ネットワークシステムの構築などを行いました。

教育費...小・中学校の施設整備、社会教育の充実などに使いました。築山児童センターの改築や八橋運動公園の整備などを行いました。
労働費・農林水産業費・商工費...労働者福祉対策、中小企業支援、商工業や観光の振興などに使いました。就業支援や、中小企業への融資、商店街の空き店舗対策などを行いました。
消防費・災害復旧費・諸支出金...消防業務、救急業務などに使いました。

公営企業決算

企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面から見た収支を「資本的収支」と表しています。公営企業の経営は、市民ニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

用語解説

収益的収支...その年度の企業の経営活動で発生した収益(収入)と、その収入を得るためにかかった費用(支出)のこと。収入はサービス提供の対価としての料金収入が主体で、支出はサービス提供に要する人件費、光熱水費、減価償却費などで
資本的収支...支出には、住民に対するサービスの提供を維持したり、将来の利用増に対し経営規模を拡大したりする建設改良費や、企業債(借入金)の元金償還金など、収入には、資産の取得などに要する資金である企業債(借入金)や国からの補助金などを計上します
損益勘定留保資金...収益的収支の支出に計上される減価償却費など現金支出を伴わない費用は、企業内部に留保された形の資金となります。これを費用化して、資本的収支の資金不足に充当する補てん財源の一部にすることができます

市立病院

ICUの開設、脳神経外科と心臓血管外科の新設など、より高水準の医療の提供と診療体制の充実に努めました。

収支	金額
収益的収支	
収入	94億9,968万4千円
支出	91億6,764万3千円
差引	3億3,204万1千円
累積欠損金	28億3,835万1千円
資本的収支	
収入	2億6,769万円
支出	7億1,600万8千円
差引	4億4,831万8千円
補てん財源	損益勘定留保資金など 4億4,831万8千円

資本的収支には消費税を含みます

水道局

老朽化した配水管の更新、太平地区内の配水管の整備を実施。また、手形山配水池の築造工事に着手しました。普及率は98.5%です。

収支	金額
収益的収支	
収入	74億6,244万2千円
支出	73億2,573万9千円
差引	1億3,670万3千円
利益剰余金	1億3,670万3千円
資本的収支	
収入	26億5,343万3千円
支出	46億4,468万2千円
差引	19億9,124万9千円
補てん財源	損益勘定留保資金など 19億9,124万9千円

資本的収支には消費税を含みます

交通局

民間事業者に路線を移管し、事業規模の縮小による効率化をはかりました。

収支	金額
収益的収支	
収入	19億5,395万円
支出	25億4,139万9千円
差引	5億8,744万9千円
累積欠損金	20億2,068万5千円
資本的収支	
収入	190万円
支出	1億3,047万7千円
差引	1億2,857万7千円
補てん財源	一時借入金 1億2,857万7千円

資本的収支には消費税を含みます